

平成28年10月期経営状況概要

(単位：千円)

項目	予算額 (繰越含む)	当月執行額	執行累計額	執行率	執行残高	執行+支出負担	対予算比
<b>8. 水道事業収益</b>	<b>2,727,099</b>	<b>195,110</b>	<b>1,419,288</b>	<b>52.0%</b>	<b>1,307,811</b>		
1. 営業収益	2,302,614	191,235	1,388,303	60.3%	914,311		
1. 給水収益	2,271,024	190,763	1,358,839	59.8%	912,185		
2. 受託工事収益							
3. その他営業収益	31,590	473	29,464	93.3%	2,127		
2. 営業外収益	424,102	3,847	30,426	7.2%	393,676		
3. 特別利益	383	28	559	146.0%	△ 176		
<b>9. 水道事業費用</b>	<b>2,519,865</b>	<b>75,186</b>	<b>598,259</b>	<b>23.7%</b>	<b>1,921,606</b>	<b>868,338</b>	<b>34.5%</b>
1. 営業費用	2,253,744	75,167	478,691	21.2%	1,775,053	748,600	33.2%
1. 原水及び浄水費	467,770	28,943	191,465	40.9%	276,305	307,320	65.7%
2. 配水費	292,371	18,664	118,483	40.5%	173,888	157,579	53.9%
3. 給水費	106,460	7,667	37,169	34.9%	69,291	47,343	44.5%
4. 受託工事費							
5. 業務費	161,802	13,047	80,777	49.9%	81,025	153,077	94.6%
6. 総係費	139,605	6,845	50,797	36.4%	88,808	83,282	59.7%
8. 減価償却費	1,035,636				1,035,636		
9. 資産減耗費	50,100				50,100		
10. その他営業費用							
2. 営業外費用	244,316		119,238	48.8%	125,078	119,238	48.8%
3. 特別損失	1,805	19	330	18.3%	1,475	500	27.7%
4. 予備費	20,000				20,000		
<b>10. 資本的収入 (繰越含む)</b>	<b>2,640,209</b>	<b>324</b>	<b>263,752</b>	<b>10.0%</b>	<b>2,376,457</b>		
1. 企業債	1,414,300				1,414,300		
2. 負担金・補償金	290,301		245,005	84.4%	45,296		
3. 補助金	347,554				347,554		
4. 出資金	576,002		11,500	2.0%	564,502		
5. 加入金	12,052	324	7,247	60.1%	4,805		
9. その他資本的収入							
<b>11. 資本的支出 (繰越含む)</b>	<b>3,884,640</b>	<b>33,355</b>	<b>486,234</b>	<b>12.5%</b>	<b>3,398,406</b>	<b>2,634,002</b>	<b>67.8%</b>
1. 建設改良費	3,229,592	33,355	161,829	5.0%	3,067,763	2,309,597	71.5%
1. 取水施設整備費	1,118,656				1,118,656	1,004,670	89.8%
2. 導水施設整備費	216,540				216,540	205,308	94.8%
3. 浄水施設整備費	109,129	4,784	5,540	5.1%	103,589	87,178	79.9%
4. 送水施設整備費	481,140				481,140	446,310	92.8%
5. 配給水施設整備費	1,301,103	28,571	156,288	12.0%	1,144,815	563,323	43.3%
6. 消防設備整備費	3,024				3,024	2,808	92.9%
2. 企業債償還金	655,048		324,405	49.5%	330,643	324,405	49.5%
<b>12. たな卸し資産購入限度額</b>	<b>57,365</b>	<b>1,263</b>	<b>12,312</b>	<b>21.5%</b>	<b>45,053</b>	<b>83,427</b>	<b>145.4%</b>
①有収水量	8,000,000	663,859	4,749,680	59.4%	3,250,320		
②供給単価	283.88	287.35	286.09	100.8%	△ 2.21		
③給水原価	258.40	113.23	125.89	48.7%	132.51		
<b>人件費</b>	<b>249,195</b>	<b>14,908</b>	<b>146,962</b>	<b>59.0%</b>	<b>102,233</b>		
1. 収益的収支	210,173	12,308	124,866	59.4%	85,307		
1. 職員給与費	208,114	12,100	123,755	59.5%	84,359		
2. 特別職 (報酬、賃金等)	2,059	208	1,111	54.0%	948		
2. 資本的収支	39,022	2,600	22,096	56.6%	16,926		
* 職員給与費	247,136	14,700	145,851	59.0%	101,285		
職員給与費対給水収益							
1. 損益勘定職員	9.2%	6.3%	9.1%				
2. 全職員	10.9%	7.7%	10.7%				

合計残高試算表	A期首	B当月	C=B-A	備考
<b>A. 固定資産</b>	<b>43,059,091</b>	<b>43,261,332</b>	<b>202,241</b>	
*減価償却累計額	18,174,387	18,174,387		
<b>B. 流動資産</b>	<b>3,658,830</b>	<b>3,409,254</b>	<b>△ 249,576</b>	
1. 現金預金	2,796,809	2,018,933	△ 777,876	
2. 未収金	820,666	456,028	△ 364,638	
3. 貸倒引当金	△ 500	△ 500		
4. 貯蔵品	33,973	29,682	△ 4,292	
5. 前払費用・前払金	190	861,021	860,831	工事前払金等
6. その他		43,590	43,590	仮払消費税
<b>D. 水道事業費用</b>		<b>569,987</b>	<b>569,987</b>	
1. 営業費用		450,443	450,443	
2. 営業外費用		119,238	119,238	
3. 特別損失		307	307	
<b>1. 借方合計=A+B+C+D</b>	<b>50,118,488</b>	<b>50,641,141</b>	<b>1,383,483</b>	
<b>E. 固定負債</b>	<b>11,281,820</b>	<b>11,281,820</b>		
1. 企業債	10,994,615	10,994,615		
2. 引当金	287,205	287,205		
<b>F. 流動負債</b>	<b>1,547,494</b>	<b>490,437</b>	<b>△ 1,057,057</b>	
1. 企業債	655,044	330,639	△ 324,405	H28年度償還元金
2. 未払金	825,284	11,980	△ 813,303	
3. 前受金	112	84	△ 27	
4. 引当金	55,109	28,768	△ 26,341	・賞与引当金・修繕引当金
5. 資本的収入整理勘定				
6. その他	11,945	118,965	107,020	
うち仮受消費税		103,266	103,266	
<b>G. 繰延収益</b>	<b>9,443,211</b>	<b>9,694,866</b>	<b>251,655</b>	
1. 長期前受金	9,443,211	9,694,866	251,655	償却資産に係る財源のうち、補助金、補償金・負担金・受贈財産等
* " 収益化累計額	3,400,567	3,400,567		
<b>H. 資本金</b>	<b>9,340,661</b>	<b>9,659,677</b>	<b>319,016</b>	
1. 自己資本金	9,340,661	9,659,677	319,016	・固有、繰入 (出資)、組入
2. 借入資本金				=企業債元金→負債勘定へ
<b>J. 剰余金</b>	<b>330,417</b>	<b>22,900</b>	<b>△ 307,517</b>	
1. 資本剰余金	22,900	22,900		・非償却資産にかかるもの
2. 利益剰余金	307,517		△ 307,517	
<b>K. 水道事業収益</b>		<b>1,316,554</b>	<b>1,316,554</b>	
1. 営業収益		1,287,648	1,287,648	
2. 営業外収益		28,382	28,382	
3. 特別利益		524	524	
<b>2. 貸方合計=E+F+G+J+K</b>	<b>50,118,489</b>	<b>50,641,141</b>	<b>522,652</b>	

a. 供給単価 (円、銭)	264.90	=給水収益÷有収水量	
b. 給水原価 (円、銭)		原価算入額は受託工事収益、材料売却原価、特別損失を除く	
①実数値	119.94	=原価算入額÷有収水量	当月予算
②シミュレーション	252.03	原価算入額に減価償却費の「経過月数/12」を加えたもの	
c. 施設利用率	77.08%	=一日平均配水量÷施設能力	
d. 有収率	84.47%	=有収水量÷配水量	
e. 流動比率	695.04%	=流動資産÷流動負債	
f. 現金預金比率	411.66%	=現金預金÷流動負債	

\* 供給単価、給水原価は損益ベースであること

平成28年10月期 業務実績報告書(水道管理課)

一 般 事 項

1 料金調定関係

項 目	単 位	A 当 月 期	B 当 年 度 累 計	C 計 画 累 計	D 前 年 度 同 月 累 計	E 対 計 画 比 較	F 対 前 年 比 較
1 調定件数	件	30,655	215,041	216,010	214,525	△969	516
2 調定水量	m <sup>3</sup>	656,815	4,717,127	4,792,800	4,812,821	△75,673	△95,694
3 調定料金(税抜)	円	176,631,988	1,258,184,599	1,263,300,000	1,269,552,911	△5,115,401	△11,368,312
4 口振加入件数	件	25,369	178,250	-	178,581	-	△331

2 給水業務関係

項 目	単 位	A 当 月 期	B 当 年 度 累 計	C 前 年 度 同 月 累 計	D 対 前 年 比 較 (B-C)
5 給水人口	人	81,724	-	82,502	△ 778
6 給水件数	件	30,449	-	30,405	44
7 開栓処理件数	件	196	2,023	1,786	237
8 閉栓処理件数	件	240	1,873	1,635	238
9 給水工事設計審査	件	43	428	449	△ 21
10 給水工事竣工検査	件	65	621	498	123
11 経年メーター交換	件	229	2,595	1,053	1,542
12 メーター口径変更	件	4	34	17	17
13 月末停止件数	件	6	78	72	6

3 料金徴収関係

項 目	A 当 月 末 未 収 額		B 収 納 率		C 前 年 同 期 未 収 額		D 収 納 率	
14 当年度分	202,521,420	円	85.10	%	202,214,557	円	85.25	%
15 過年度分	4,950,021	円	97.44	%	5,056,312	円	97.28	%
16 全 体 (計)	207,471,441	円	-		207,270,869	円	-	

4 給水装置工事指定業者(10月期異動なし)

迫町	登米町	中田町	豊里町	米山町	南方町	津山町	東和町	石越町	市内計	市外計	合計
19	8	16	12	13	9	8	14	7	106	116	222

5 入札・契約

(左:累計 右:当月)

項目	累計(落札件数/入札件数)		工事請負		設計業務		業務委託		物品購入		その他	
入札件数	77/80	15/18	47/50	13/16	10/10	1/1	5/5	0/0	15/15	1/1	0/0	0/0
契約締結	一般	16	2	16	2	0	0	0	0	0	0	0
	指名	40	9	23	8	5	1	1	0	11	0	0
	随契	21	4	8	3	5	0	4	0	4	1	0
	合計	77	15	47	13	10	1	5	0	15	1	0

※入札中止 当月 0件:累計2件/入札不調 当月 3件:累計 3/入札取消 当月 0件:累計 0件/未契約 0件

6 竣工等検査

検査種類	累 計	当 月 件 数	内 容
竣工検査	14	7	工事
中間検査	7	0	工事
合 計	21	7	

7 主な行事・会議

会 議 名	日 時	内 容
部長等連絡調整会議	3日	10月 事業打合せ等
事業調整会議	4日	第7回 部長等連絡調整会議復命、日程調整
水道事業連絡会議	12日	第7回 業務報告、日程確認、業務打合せ等
安全衛生委員会	11日	第7回 行事計画、日程調整等
水道ブースター会議	20日	10月期 モバイルマッピング
給水拠点設置訓練	19日	第7回 豊里総合支所
経営分析会議	24日	9月期 各種経営分析等
例月出納検査	25日	9月分 例月出納現金検査
指名委員会	6・12・20日	第20回・第21回・第22回
入札	6・20日	8件(不調1件)・6件(不調2件)
緊急メールの発出	-日	漏水9、破損6、配信訓練1、地震情報2

特 記 事 項

1. 10月期の経営状況

(1) 予算執行状況等について

ア 収益的収支

当期の給水収益は190,763千円(税込)で、前月期に比べて12,294千円の減で、予算執行率(累計)は59.8%(前年度60.7%)、対前年同月比(税抜)では667千円の減となっています。営業収益は手数料収益473千円を含む191,235千円、営業外収益は事務手数料25,935千円を含む3,847千円、特別利益はダム管理負担金の精算による還付金が27千円となりました。

当期の営業費用は75,167千円を執行し、累計額は478,690千円、予算執行率(累計)は21.2%(前年度22.5%)となりました。特別損失として放射性物質検査料19千円を執行しました。

イ 資本的収支

当期の収入は、加入金324千円を執行し累計で252,252千円となり、執行率(累計)は9.8%(前年度0.5%)でした。

支出は、浄水施設整備費に4,784千円、配給水工事請負費に12,708千円、給水メータに4,519千円、調査設計費に8,724千円、事務費2,620千円を執行し、累計では405,236千円となり、執行率(累計)は10.8%(前年度9.5%)でした。また、繰越工事については54,819千円を執行しました。

ウ たな卸し資産購入限度額

当期は、薬品に1,203千円、印刷物17千円、その他43千円を執行しました。

2. 今月の出来事

(1) 副市長との事務打合せ

10月4日(火)に平成28年度第2回目となる副市長との事務打合せが副市長室で行われました。内容は、平成28年度上半期までの主要事業の進捗状況と課題についてでした。

水道事業所では、主要事業である水道事業施設更新計画(水道管理課)と下り松ポンプ場築造事業、新田配水池築造事業(水道施設課)の進捗状況と今後の予定や課題等について、説明しました。

また、10月19日(水)に栗山副市長に市内の主要な水道施設を視察していただきました。

(2) 上水道事業運営審議会を開催

平成28年度第1回登米市上水道事業運営審議会を10月27日(木)に開催しました。山田会長をはじめ8名の委員が出席のもと、平成27年度登米市水道事業会計決算について説明を行いました。そのほか、現在の経営状況と今年度の業務報告、昨年度作成した水安全計画と施設更新計画策定委員会の進捗状況について報告を行いました。



上水道事業運営審議会

(3) 水道事業所職員研修会を開催

○ 平成27年度登米市水道事業会計決算説明会を10月13日(木)・14日(金)に開催しました。水道事業所の全職員と包括的業務受託者を対象として行ったもので、2日間で職員24名、受託者14名が受講しました。

○ 今年度初めて、登米市水道事業連絡会議主催の研修会(兼水道事業所職員研修会)を開催しました。講師に上水道事業運営審議会委員でもある村上伸子氏を迎え、「接遇」をテーマにした講演をいただきました。CS(顧客満足)における「顧客とはだれか?」や、「満足」について、また苦情は氷山の一角であるなど、直接お客様と向き合う業務受託者にも有意義な研修となりました。なお、職員19名、受託者等26名が受講しました。



接遇研修

○ 前上水道事業運営審議会会長を務められた天野巡一氏(岩手県立大学名誉教授)を講師に迎え、「期待される職員像」を演題に講演をしていただきました。自治体を取り巻く環境の変化や、自分の磨き方、水五訓など職員としての考え方について、そして危機管理としての5原則、シャ(謝罪)、チョウ(調査)、ゲン(原因究明)、カイ(改善策)、ショ(処分)が大切であると学びました。なお、職員19名、他部署6名、受託者等15名が受講しました。



研修:期待される職員像

水道事業所では、今後も研修による知識の習得と技術の継承を図ります。

# 平成28年10月期 業務実績報告書 ( 水道施設課 )

## 一 般 事 項

### 経営分析の状況

#### ◎配水量の状況

(単位: m<sup>3</sup>)

項 目	A 当月実績	B 実績累計	C 計画累計	D 前年累計	E 比 較	
					対計画 B-C	対前年度 B-D
総取水量	831,532	5,883,493	5,865,340	5,957,568	18,153	-74,075
総配水量	795,980	5,622,892	5,660,600	5,653,795	-37,708	-30,903
1 有効水量	710,999	5,087,420	5,181,520	5,186,665	-94,100	-99,245
(1)有収水量	663,859	4,749,680	4,822,200	4,842,655	-72,520	-92,975
(2)無収水量	47,140	337,740	359,320	344,010	-21,580	-6,270
2 無効水量	84,981	535,472	479,080	467,130	56,392	68,342
(1)漏水量	82,987	530,766	474,000	461,741	56,766	69,025
(2)その他無効水量	1,994	4,706	5,080	5,389	-374	-683
3 有収率	83.40	84.47	85.19	85.65	-0.72	-1.18

※当月期の最大配水量は、10月4日(火)に記録した【26,843m<sup>3</sup>】です。

#### ◎主要な建設改良事業の状況

(単位: 件・千円)

主要な建設改良事業等の状況	予 算 額 (A)		施 工 中 額 (B)		竣 工 額 (C)		残 額 (D)=A-(B+C)	
	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	金 額	率%
ア 取水施設整備事業	4	1,118,656	4	1,004,670	0	0	113,986	89.8%
イ 導水施設整備事業	2	216,540	2	205,308	0	0	11,232	94.8%
ウ 浄水施設整備事業	14	109,129	8	81,637	4	5,540	21,952	79.9%
エ 送水管整備事業	4	481,140	4	446,310	0	0	34,830	92.8%
オ 配給水施設整備事業	71	1,165,285	19	352,216	6	75,290	737,780	36.7%

\*注1 件数及び金額は工事+委託(事務費・人権費含む)の合計です。

#### ◎毎日検査

※おいしい水の目安 遊離残留塩素0.4mg/L以下

	保呂羽浄水場 F1遊離残留塩素	保呂羽浄水場水系 (測定戸数: 7)	東和町水系 (測定戸数: 9)	石越町水系 (測定戸数: 1)	大萱沢浄水場水系 (測定戸数: 2)
平均	0.68	0.37	0.44	0.57	0.42
最低	0.61	0.17	0.20	0.50	0.25
最高	0.73	0.62	0.70	0.60	0.50

#### ◎登米水道の放射性物質測定結果

採取地点	採取年月日	核種濃度(Bq/Kg)		採取地点	採取年月日	核種濃度(Bq/Kg)	
		セシウム134	セシウム137			セシウム134	セシウム137
保呂羽浄水場	H28.10.25	<0.9	<0.9	米谷水系浄水場	—	—	—
石越浄水場	H28.10.24	<0.8	<0.9	楼台浄水場	—	—	—
大萱沢浄水場	H28.10.24	<0.8	<1.0	合の木浄水場	—	—	—
米川水系浄水場	—	—	—	大綱木浄水場	—	—	—
錦織水系浄水場	H28.10.25	<1.0	<1.0	—	—	—	—

## 特 記 事 項

### 1 登米市産業フェスティバル出展

平成28年度登米市産業フェスティバルが10月23日(日)、迫体育館と中江中央公園を会場に開催されました。水道事業所では、「じゃ口から 安心とどけ 未来まで」をメインテーマに、市民の皆様に安全・安心で安定した水道をPRするために、水道事業所の取組みを展示しました。

水道をもっと知っていただくため、水源である河川水の汚れを取り除く浄水場での様子を再現したジャーテスト(濁りを取るための最適な薬品注入率を測る試験)や、ろ過実験、水道の耐震管を理解していただくためのデモ機での説明、漏水探知機器の操作体験、簡単な漏水発見のためのメーターの見方などの展示と併せ、クイズを実施し、水道ブースには、750名を超す多くのお客様が訪れました。

また、包括委託の受託者である明電舎、お客様センター、管工事組合等の職員も、来客者に各業務の説明をしました。

併せて、平成27年度完成した新田配水池の建設目的を広く周知するため見学会を実施し、29名の見学者が訪れました。

水道事業所では、今後も積極的に事業の見える化を行い、お客様に信頼される水道事業を目指します。

水道事業所ブース

ジャーテスト

新田配水池見学

新田配水池見学



### 2 災害訓練を実施

10月期の水道事業所災害訓練を10月28日包括受託業者を交えて実施しました。東和町米川字山根地内(9月5日配水管VPφ150)米山町字桜岡狐崎地内(9月17日配水管DCIPφ250)漏水に伴う対応について検証を行いました。

漏水・異常流量発生から漏水箇所の特定、施工計画の作成、情報発信、断水区域確認、仕切弁操作、水系変更、給水拠点の設置など修理完了まで検証しました。

漏水箇所の特定と同時に修繕資材の手配を行い、ブリッツへの情報登録により漏水状況及び修繕の状況が現場以外でも確認でき有効に活用できました。

一方、仕切弁操作状況の情報共有の徹底、断減水区域縮小のための水系把握、需要家への的確な情報提供など改善が必要と思われる点もあり、今後も状況に応じより良い対応が出来るよう検証・訓練を実施します。

### 3 大萱沢浄水場取水口厚生作業実施

取水場の土砂堆積による取水口閉塞を防止するため、包括受託者による取水口砕石入替作業を実施しました。

集水管の状況

入替後の状況



### 4 平成28年度の漏水調査結果について

10月末の漏水調査の結果60件137.86m<sup>3</sup>/h(累計)の漏水を発見しています。計画有収率85%を目標に調査を実施します。

### 5 地震発生状況

10月16日、午後4時37分頃、宮城県沖を震源とするM5.3の地震が発生(登米市震度4)しました。各浄水場等施設点検の結果異常異状はありませんでした。

漏水調査結果	施設	件数	漏水量(m <sup>3</sup> /h)
	配水管	8	104.44
	付属施設	0	0.00
	給水管	52	33.42
	計	60	137.86